

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	③-4	事業名	子どもルーム事業			
所管	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
(検討委員) ・事業主体・手法の分析が必要。校区単位での設置は、地域ニーズを再検討。 ・市全体の子育て支援のシステム化が必要。本事業は廃止し「まちかど子育てサポートルーム」と一体化し、「ひろば型」50箇所として事業を実施すれば、よりきめ細かい子育て支援が行える。求められているのは、未就園児がいる家庭を対象とした安心して子育てができる支援施策である。 ・地域の子どもは地域で育てるという主旨を実現するには、地域社会の教育力、コミュニティ再生を図るのが本筋。地域社会の在り様を見直さないと補助金交付型で事業を行っても効果がない。 (市民審査員) ・設置箇所の増加が急務だと思う。それと、地域の人達にPRをもっと行い、こういう場所があると知らせること。保護者と児童が共に公園等で気軽に話し合える場所を提供する事も良いと思う。 ・子どもと親同士のつながりができたという実感を市民がもっと得られるような制度にしていくべき。 ・全校区に作るのには必要なく、地域の協力のもと必要な所だけで良い。						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	4人	1人	5人	3人	5人	
検討委員(参考)	0人	0人	4人	1人	0人	
2. 市の方向性	改善(平成23年度中に見直しの検討を行い、平成24年度以降に見直しを実施)					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
本事業では、保護者の育児不安の解消や虐待を未然に防止すること等を目的として、就学前児童等を対象に、自宅から徒歩圏内の身近な地域で、気軽に立ち寄り、安全で安心して過ごせる場を提供する。 また、利用者アンケートの結果から子育てで困った時に役立つ制度として「身近に相談でき、子育て親子が集い交流できる場」のニーズが高かったことから、市民にとって身近な地域で利用しやすい「つどいの広場」として、さらに効果的・効率的に事業を実施する手法等を検討したい。						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	68,941千円	59,681千円	▲9,260千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	利用者意見・ニーズ調査を実施した。					
平成23年度	ニーズ調査結果を分析するなど、事業再構築案を作成する。効果的・効率的な事業実施に向け、関係団体と調整を行う。					
平成24年度以降	再構築案に基づき、事業を実施する。					